

**(仮称)**  
**相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）**  
**連続立体交差事業**

**環境影響評価方法書説明会**

**令和元年 1 1 月**

**横浜市**

## 説明会の主旨について

相模鉄道本線の西谷駅から二俣川駅の間で検討中である、連続立体交差事業について、**横浜市環境影響評価条例に基づき、環境影響評価方法書の記載内容について、事業予定箇所周辺の皆様に、**ご説明するものです。

# 説明会次第

予定時間：午後7時～午後8時30分

～ 開会 ～

1. 事業者あいさつ及び紹介
2. 環境影響評価 方法書の説明 【約30分】
3. 質疑応答 【約60分】

～ 閉会 ～

# 本日の説明内容

## 1. 事業計画

- 1-1. 鶴ヶ峰駅付近の状況
- 1-2. 都市計画対象事業の概要
- 1-3. 事業スケジュール

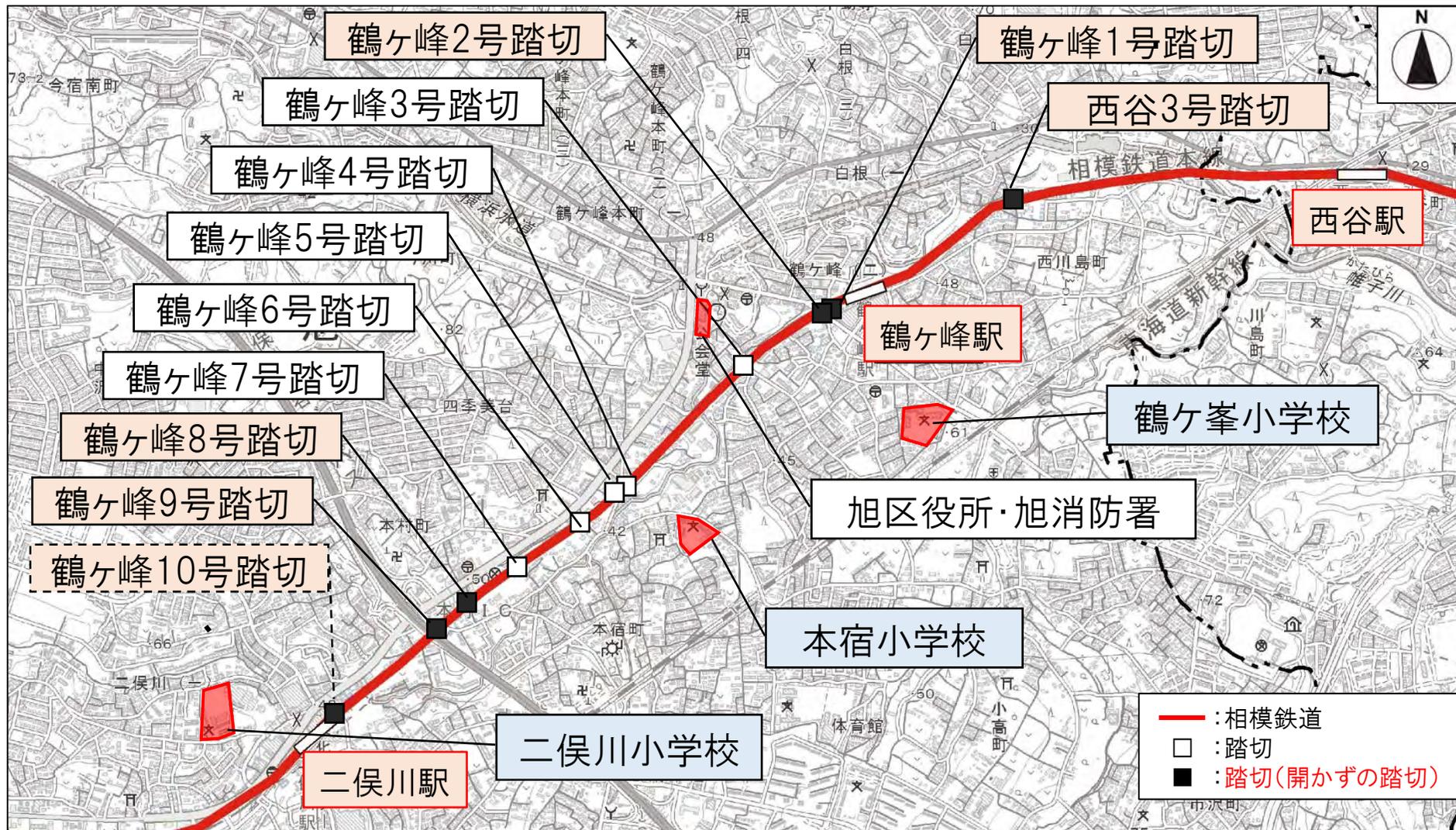
## 2. 環境影響評価

- 2-1. 環境影響評価制度
- 2-2. 環境影響評価方法書の内容
- 2-3. 縦覧及び意見書の提出

# 1. 事業計画

## 1-1. 鶴ヶ峰駅付近の状況

# 踏切の状況



※開かずの踏切とは・・・  
ピーク1時間あたり40分以上遮断している踏切

# 鶴ヶ峰駅周辺の状況（課題）



# 鶴ヶ峰駅周辺の状況（課題）



# 鶴ヶ峰駅付近の課題

## ■現状

駅を中心とした宅地化の進展

高齢化率の上昇

慢性的な交通渋滞

通学路の安全性

緊急活動への影響

鉄道によるまちの分断

## ■踏切遮断により...

円滑な交通への障害

迂回による生活環境への影響

消防・救急活動の阻害

公共交通への影響

学区の分断による児童の安全性の低下

地域の分断

など

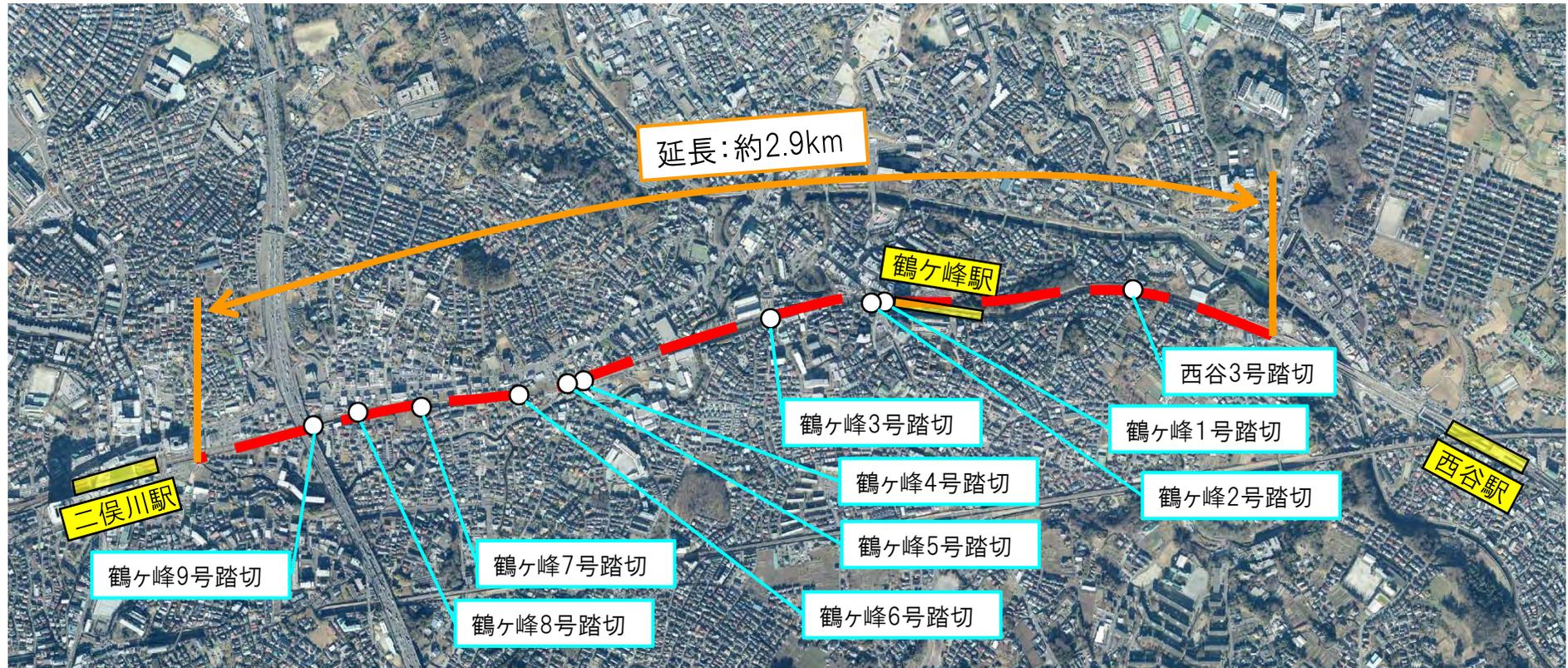
課題解決のためには...

鉄道を立体化することにより、連坦する踏切を一挙に除却する

**連続立体交差事業が効果的！！**

## 1-2. 都市計画対象事業の概要

# 対象事業実施区域周辺の状況

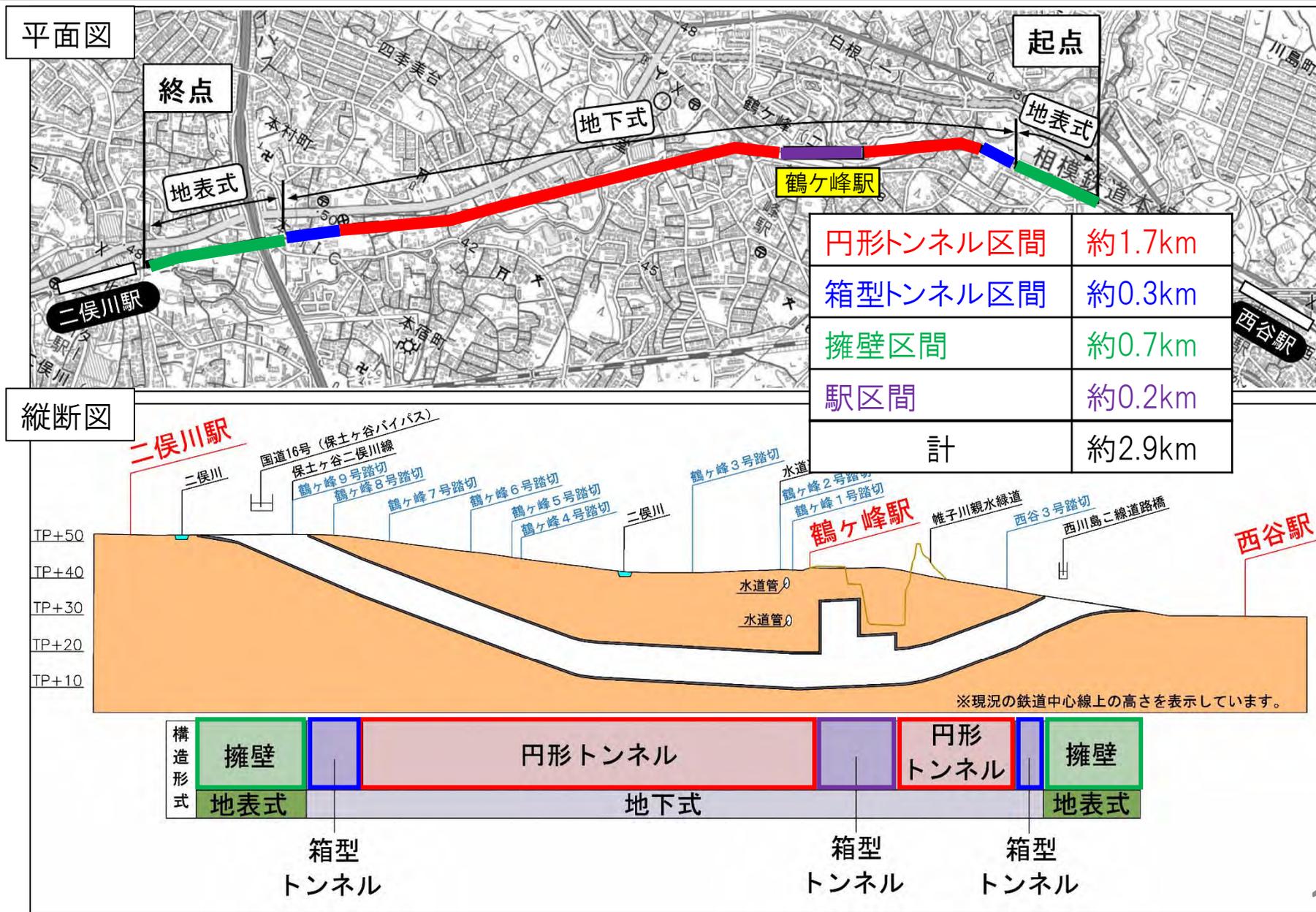


— : 対象事業実施区域  
○ : 除去される踏切

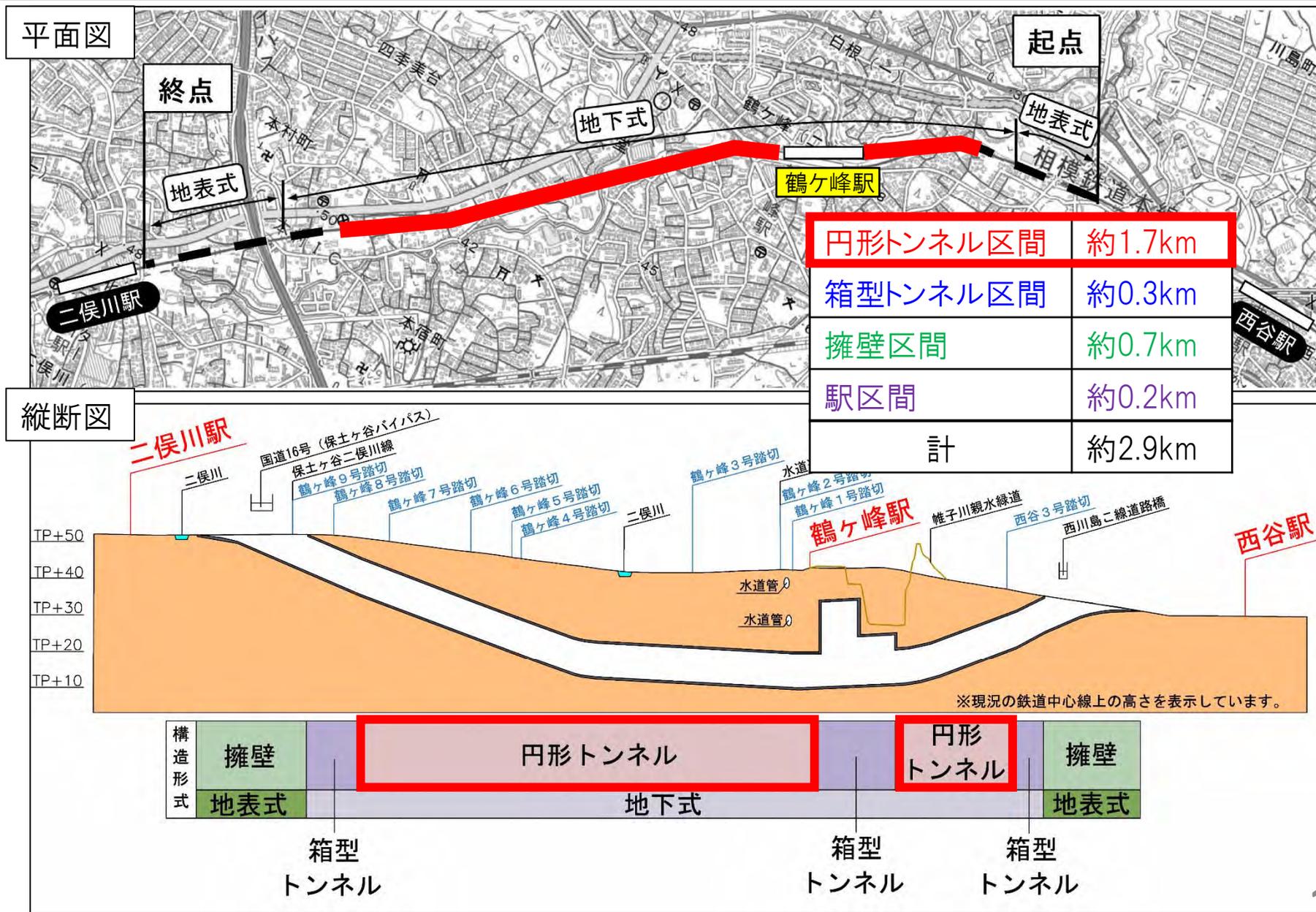
## 都市計画対象事業の概要

<p>都市計画決定権者の 名称並びに 当該対象事業を実施 しようとする者の氏名 及び住所</p>	<p>【都市計画決定権者】 横浜市</p> <p>【当該対象事業を実施しようとする者】 名称 横浜市 代表者の氏名 林 文子 主たる事務所の所在地 横浜市中区 港町1丁目1番地</p>
<p>都市計画対象事業の 名称</p>	<p>(仮称)相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続 立体交差事業</p>
<p>都市計画対象事業の 種類、規模</p>	<p>鉄道及び軌道の建設(鉄道の改良) (第1分類事業) 延長:約2.9km</p>

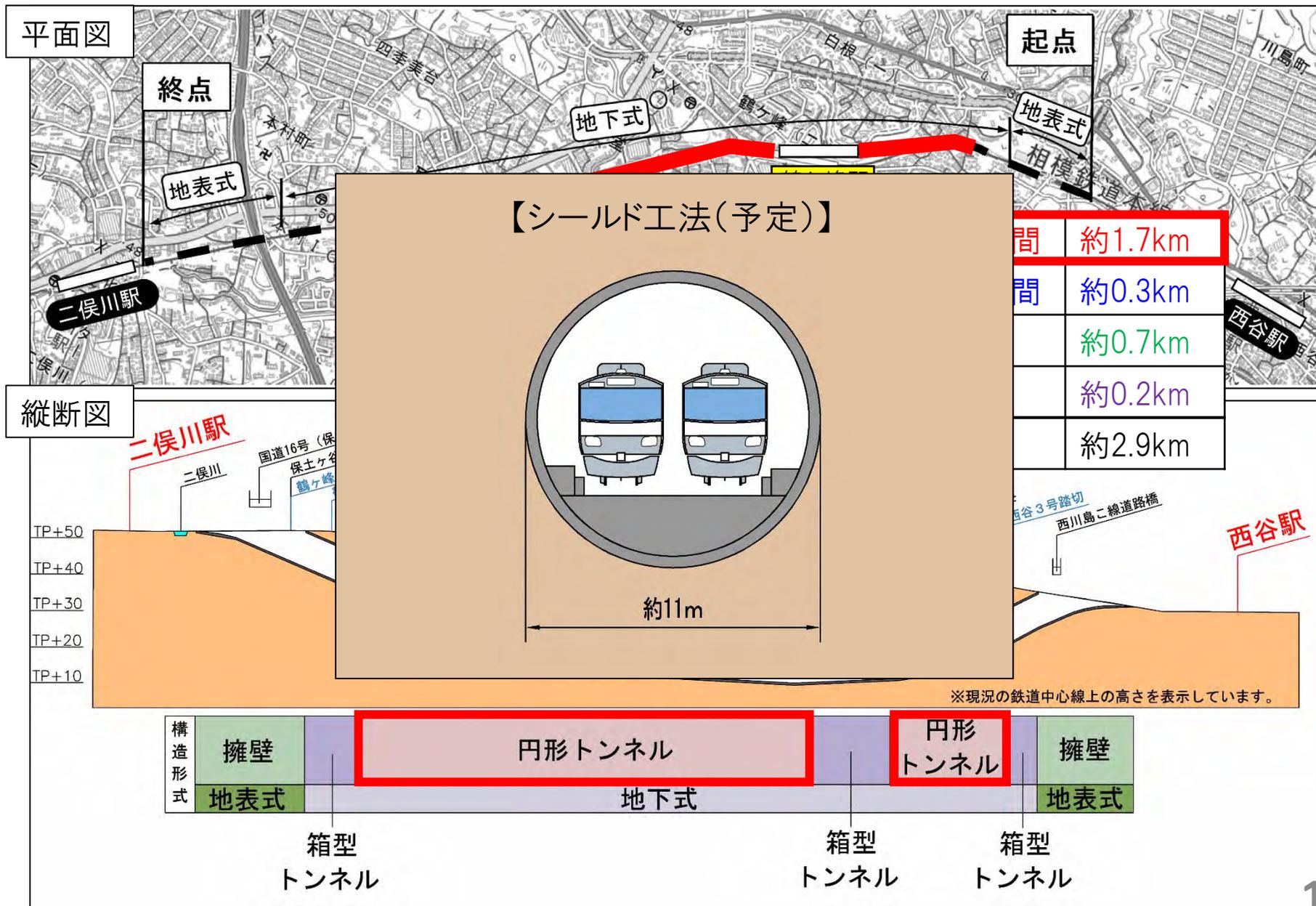
# 都市計画対象事業の内容



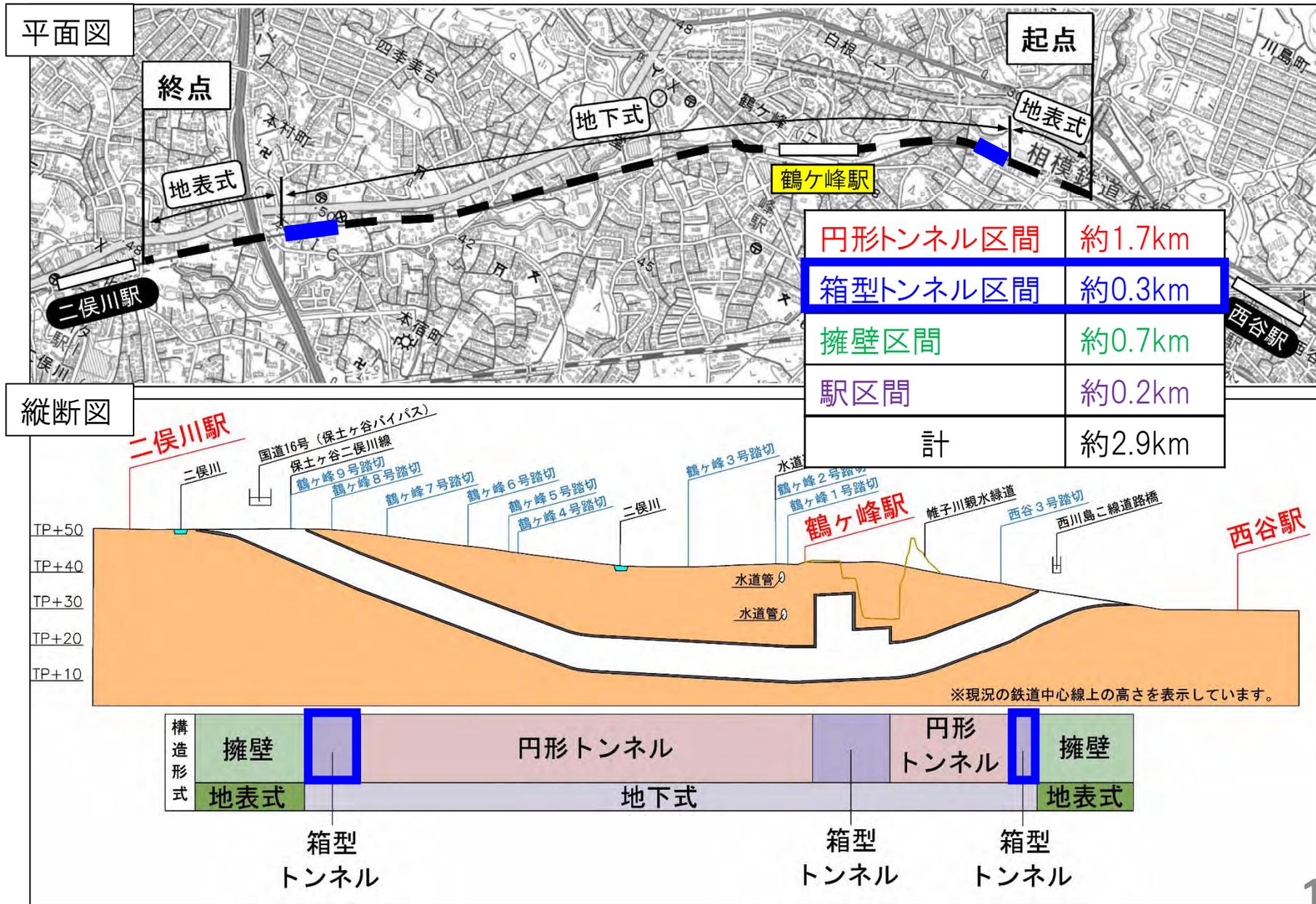
# 都市計画対象事業の内容



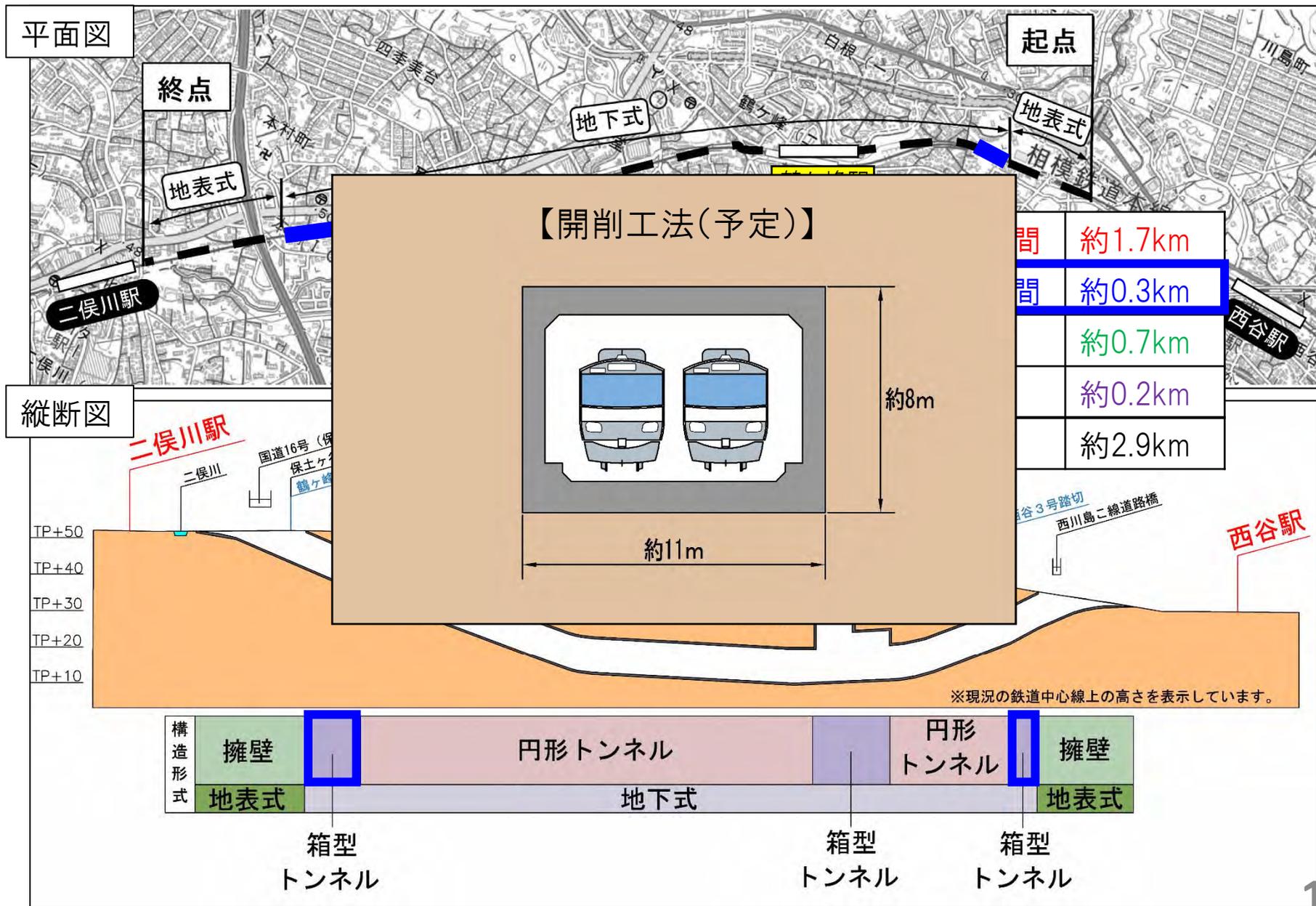
# 都市計画対象事業の内容



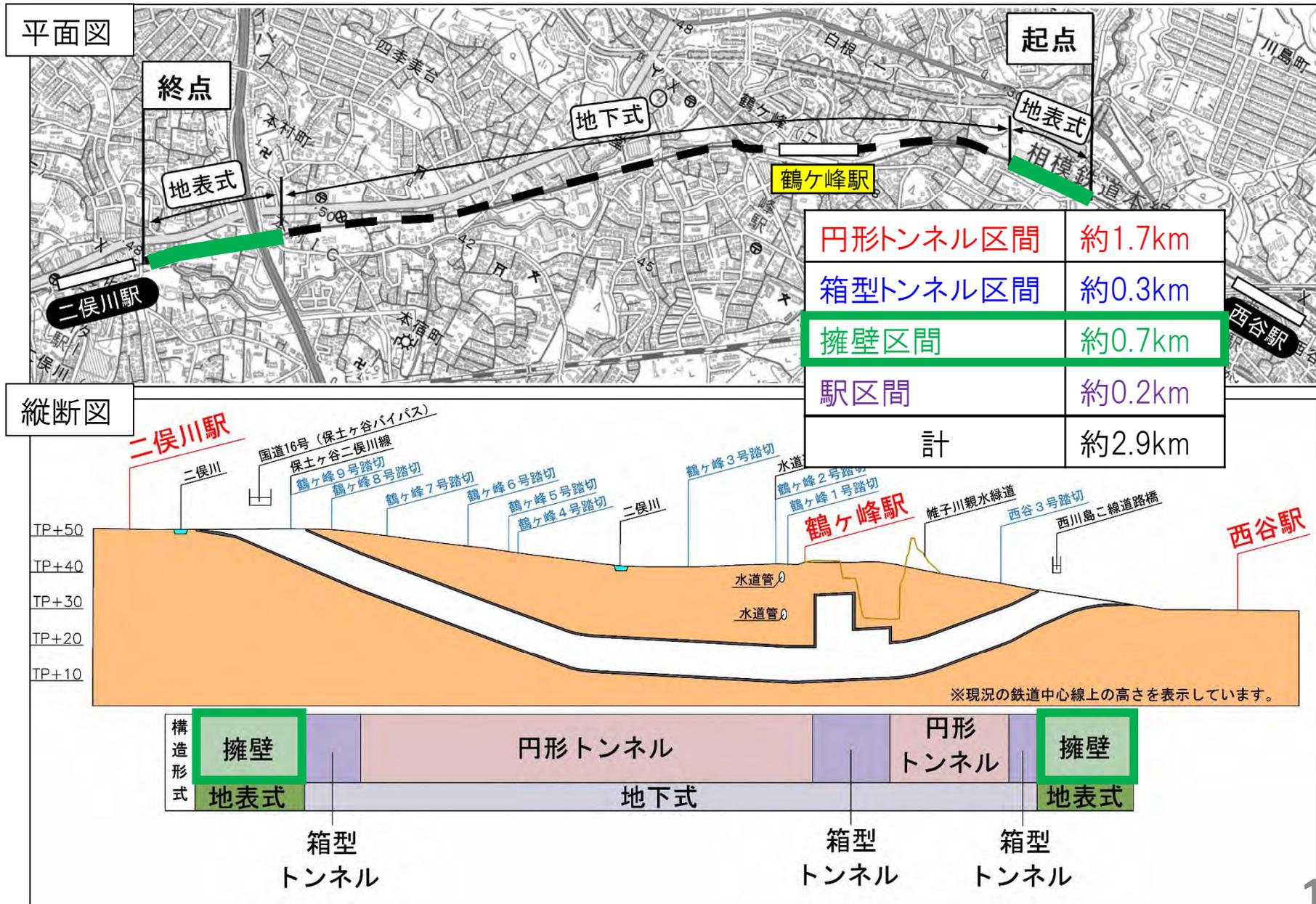
# 都市計画対象事業の内容



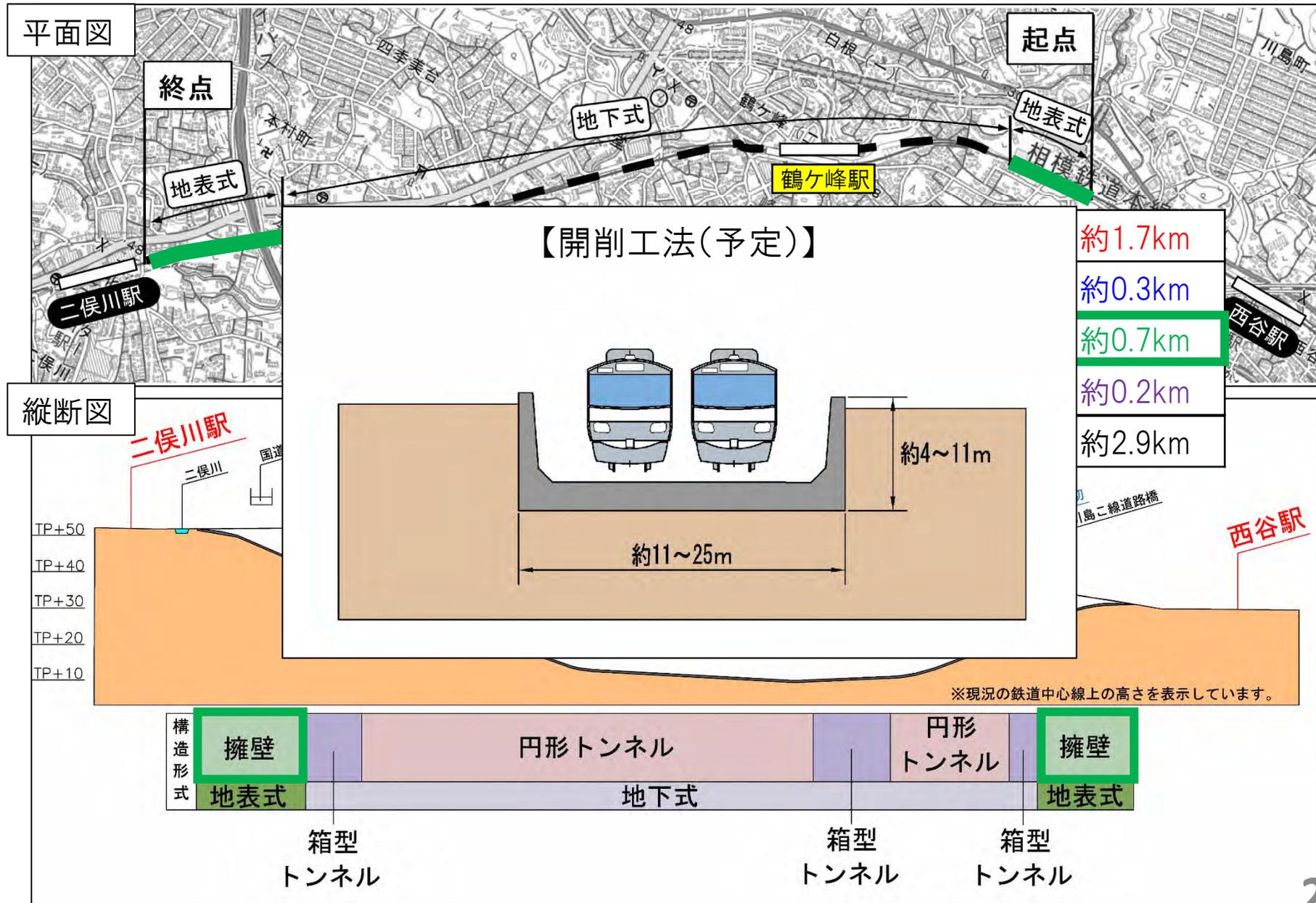
# 都市計画対象事業の内容



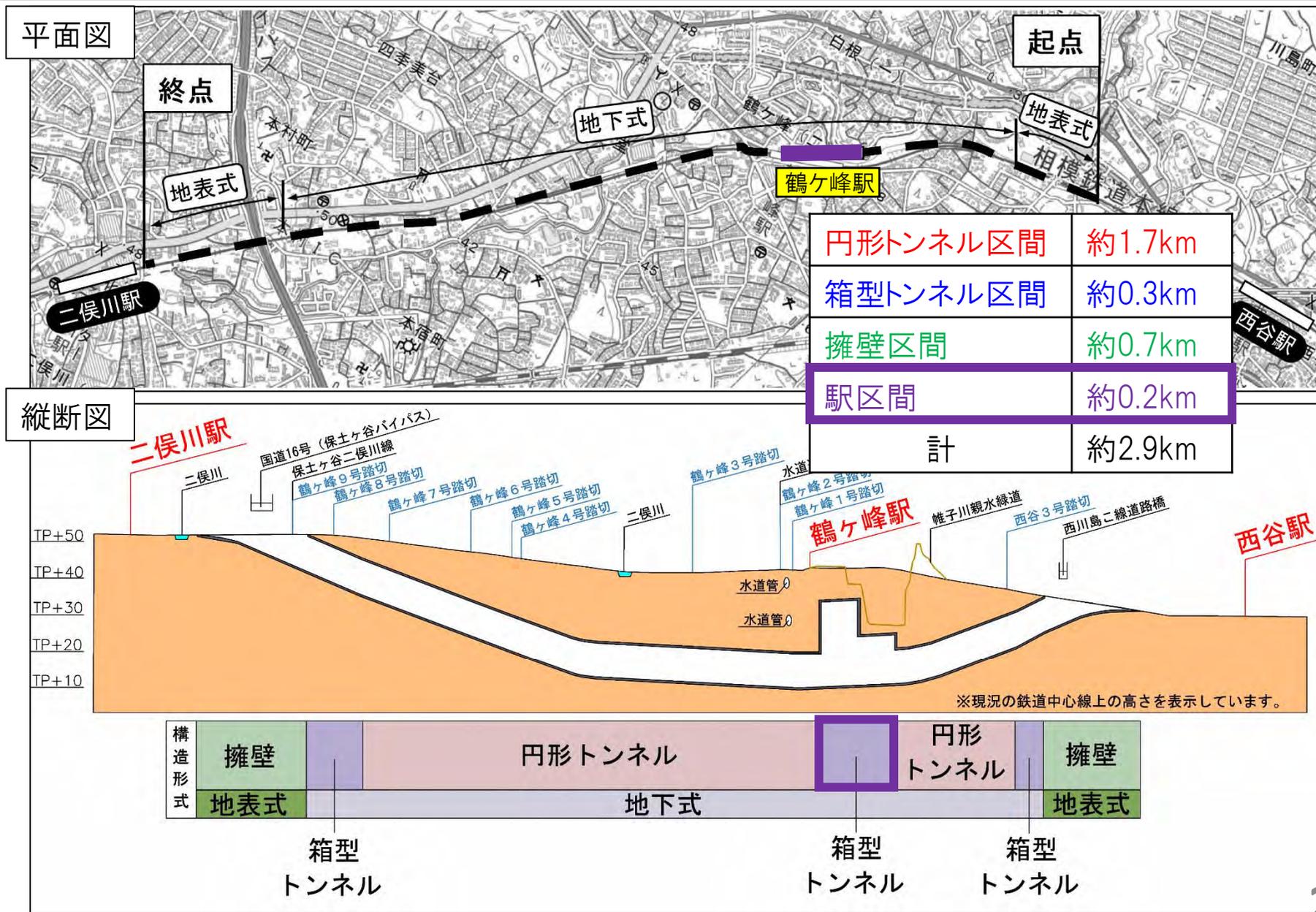
# 都市計画対象事業の内容



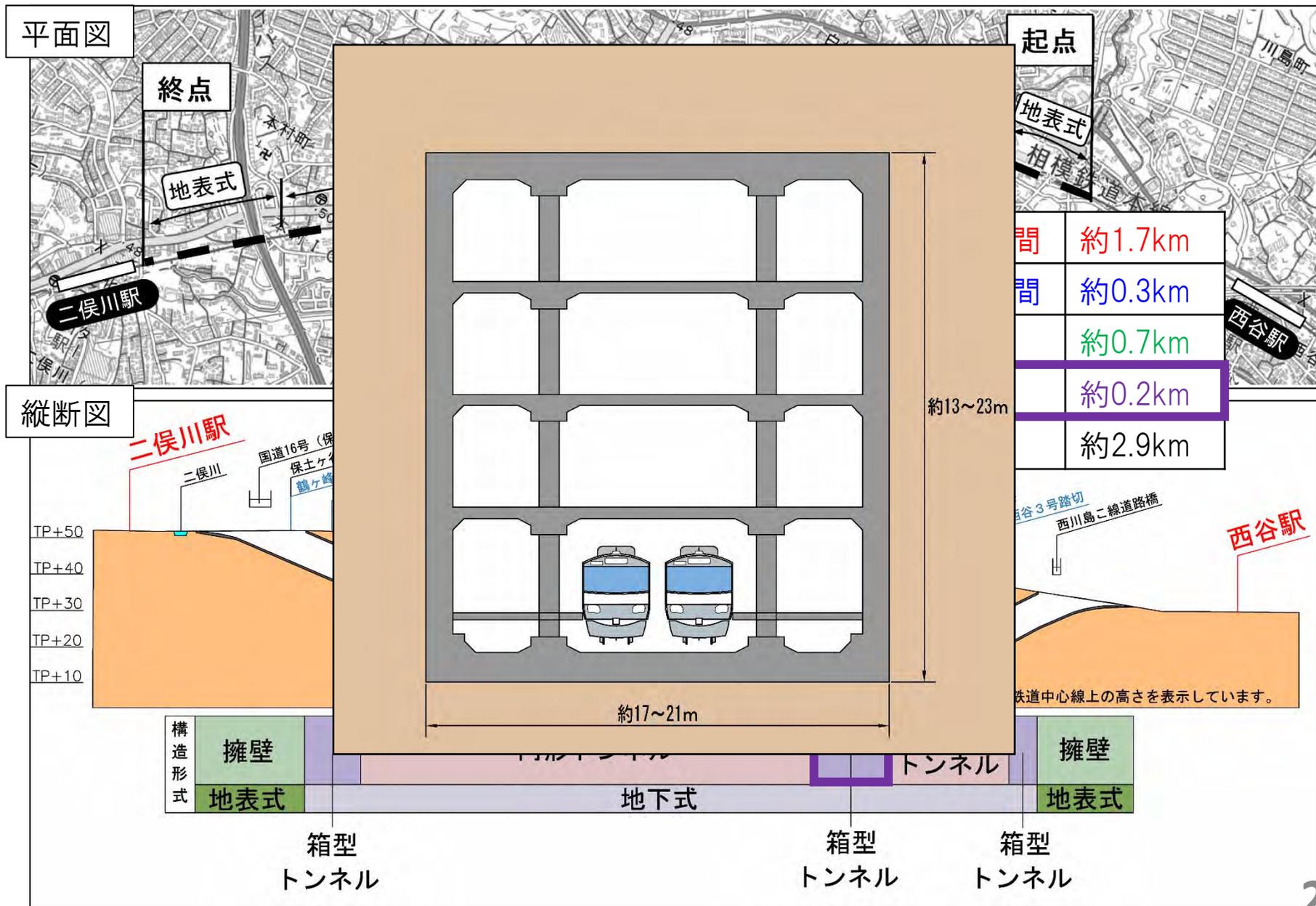
# 都市計画対象事業の内容



# 都市計画対象事業の内容

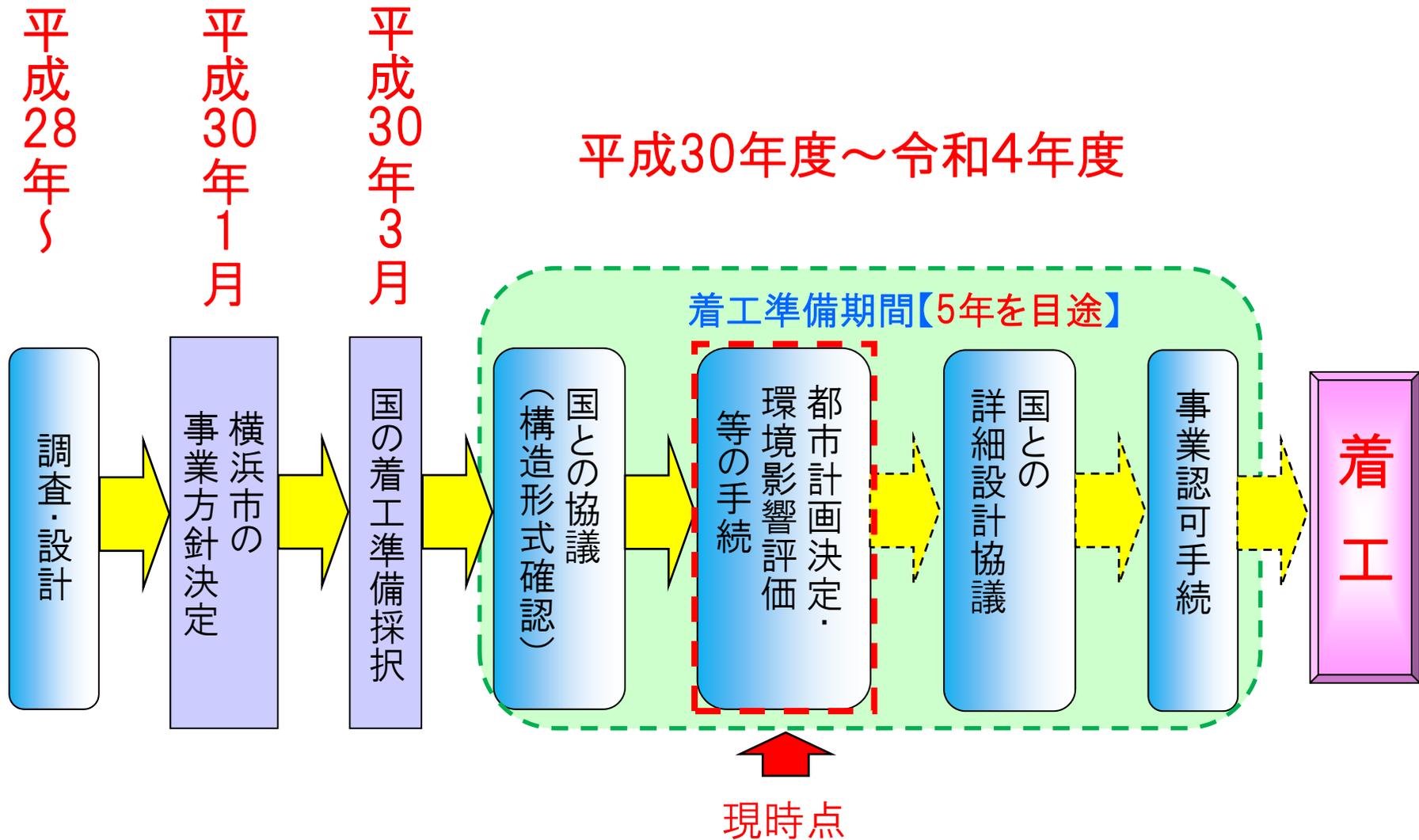


# 都市計画対象事業の内容



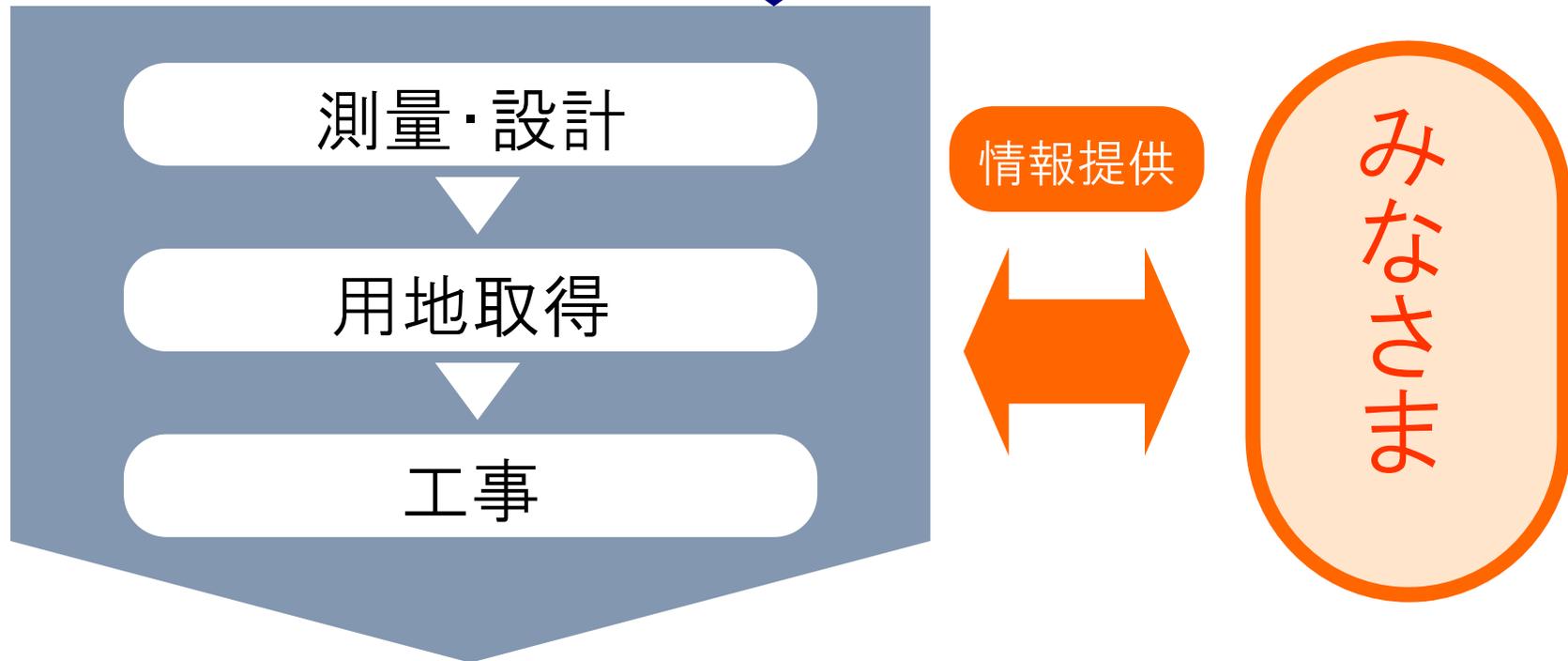
## 1-3. 事業スケジュール

# 着工までの流れ



# 事業認可後の流れ

事業認可(令和4年度(2022年度)目標)



完成目標  
令和15年度(2033年度)

※事業期間は令和5年度から約11年程度を事業期間として想定。

## 2. 環境影響評估

## 2-1. 環境影響評価制度

## 環境影響評価とは

### 環境影響評価(環境アセスメント)制度

事業が環境に及ぼす影響について

- ・事前に調査、予測、評価
- ・その結果を公表
- ・市民等から意見を聴くなどの手続を実施

適切な環境保全対策等を検討し、事業計画に反映させる制度

# 環境影響評価のながれ



## それぞれの図書の内容について

### 配慮書

事業の計画を立案するにあたり、環境の保全について配慮すべき事項の検討を行い、その内容を記載したもの。

### 方法書

環境への影響を調査・予測・評価する項目や、調査・予測の手法などを記載したもの。

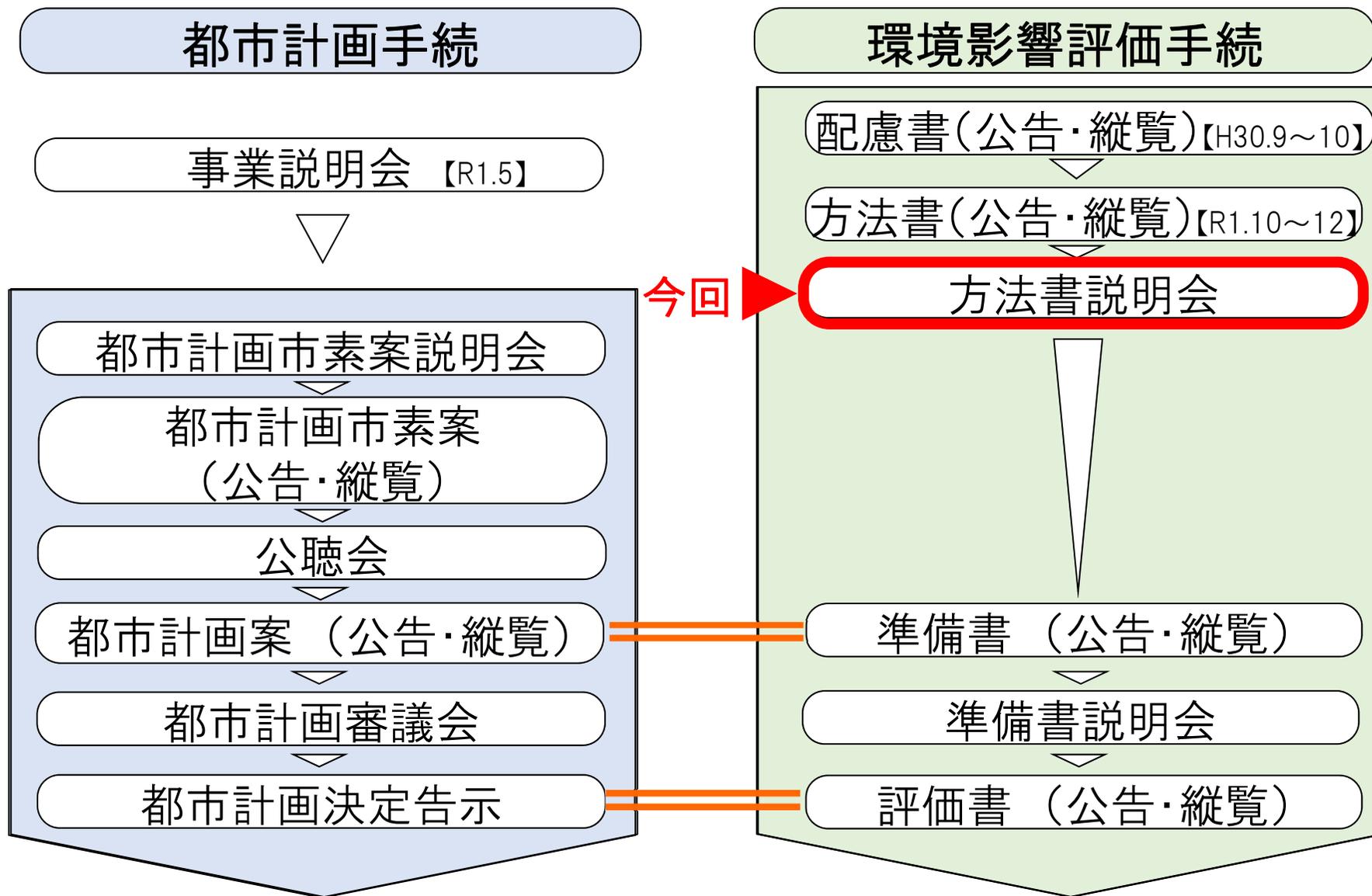
### 準備書

方法書等に基づき、環境への影響を調査・予測・評価した結果などを記載したもの。

### 評価書

市長や住民等の意見を踏まえ、準備書の内容に検討を加え、環境影響評価の最終的な評価を記載したもの。

# 都市計画手続及び環境影響評価手続について



事業認可(令和4年度(2022年度)目標)

## 2-2. 環境影響評価方法書の内容

# 環境影響要因と環境影響評価項目の関連表①

環境の保全 及び創造に 向けた 基本的な考え方	環境影響 評価項目	細目	区分				供用時				
			工事中				施設の存在		施設の供用		
			建設 機械の稼働	工事用 車両の走行	列車の走行 (工事中)	切土工等、トンネル工事 又は既存の工作物の除去	鉄道施設(地表式)の存在	鉄道施設(※地下式)の存在	列車の走行(地上)	列車の走行(地下)	駅舎の供用
地球環境への 負荷の低減	温室効果ガス	温室効果ガス	○	○	—	—	—	—	—	—	—
身近な 自然環境の 保全・再生 ・創造	生物 多様性	動物	—	—	—	○	—	○	—	—	—
		植物	—	—	—	○	—	○	—	—	—
		生態系	—	—	—	○	—	○	—	—	—
	水循環	地下水位	—	—	—	○	—	○	—	—	—
河川の 形態、流量		—	—	—	○	—	—	—	—	—	
安心して 快適に生活 できる 生活環境の 保全	廃棄物・ 建設発生土	産業廃棄物	—	—	—	○	—	—	—	—	—
		建設発生土	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	大気質	大気汚染	○	○	—	—	—	—	—	—	—

※工事後に復旧する地下構造物直上の地表を含む。

## 環境影響要因と環境影響評価項目の関連表②

環境の保全 及び創造に 向けた 基本的な考え方	環境影響 評価項目	区分 環境影響要因 細目	工事中				供用時					
			建設 機械の稼働	工事用 車両の走行	列車の 走行(工 事中)	切土工等、 トンネル工 事 又は既存 の工作物の 除去	施設の存在		施設の供用			
							鉄道施設 (地表式)の 存在	鉄道施設 (※地下式) の存在	列車の 走行(地上)	列車の 走行(地下)	駅舎の 供用	
安心して 快適に生活 できる 生活環境の 保全	水質・底質	公共用水域 の水質	—	—	—	○	—	—	—	—	—	
	騒音	騒音	○	○	○	—	—	—	○	—	—	
	振動	振動	○	○	—	—	—	—	○	○	—	
	地盤	地盤沈下	—	—	—	○	—	○	—	—	—	
	安全	土地の安定性 地下埋設物	土地の安定性	—	—	—	○	—	—	—	—	—
			地下埋設物	—	—	—	○	—	—	—	—	—
快適な 地域環境の 確保	地域社会	交通混雑	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
		歩行者の安全	—	○	—	—	—	—	—	—	—	
	景観	景観	—	—	—	—	○	○	—	—	—	
	触れ合い 活動の場	触れ合い 活動の場	—	—	—	○	—	○	—	—	—	

※工事後に復旧する地下構造物直上の地表を含む。

## 環境影響要因と環境影響評価項目の関連表（工事中）

区分	環境影響要因	環境影響評価項目(細目)
工事中	建設機械の稼働	温室効果ガス、大気汚染、騒音、振動
	工事中車両の走行	温室効果ガス、大気汚染、騒音、振動、交通混雑、歩行者の安全
	列車の走行(工事中)	騒音
	切土工等トンネル工事又は既存の工作物の削除	動物、植物、生態系、地下水位、河川の形態・流量、産業廃棄物、建設発生土、公共用水域の水質、地盤沈下、土地の安定性、地下埋設物、触れ合い活動の場

## 環境影響要因と環境影響評価項目の関連表（供用時）

区分	環境影響要因		環境影響評価項目(細目)
供用時	施設の存在	鉄道施設 (地表式)の存在	景観
		鉄道施設 (地下式)の存在	動物、植物、生態系、地下水位、地盤沈下、景観、触れ合い活動の場
	施設の供用	列車の走行 (地上)	騒音、振動
		列車の走行 (地下)	振動

# 調査・予測の内容（動物、植物、生態系）

## 【調査方法】

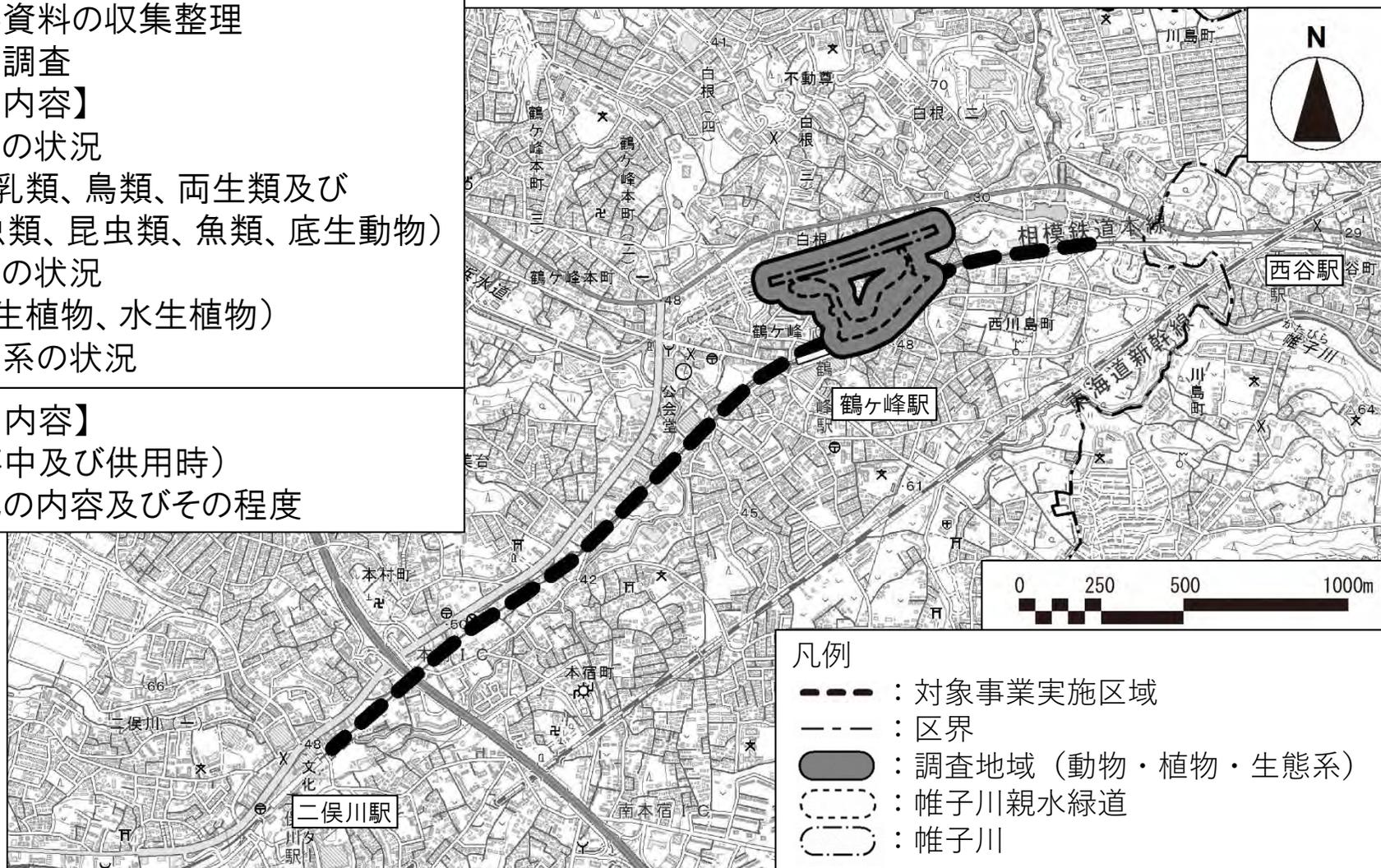
- ・既存資料の収集整理
- ・現地調査

## 【調査内容】

- ・動物の状況  
（哺乳類、鳥類、両生類及び  
爬虫類、昆虫類、魚類、底生動物）
- ・植物の状況  
（陸生植物、水生植物）
- ・生態系の状況

## 【予測内容】

- （工事中及び供用時）
- ・変化の内容及びその程度



# 調査・予測の内容（地下水位、地盤）

## 【調査方法】

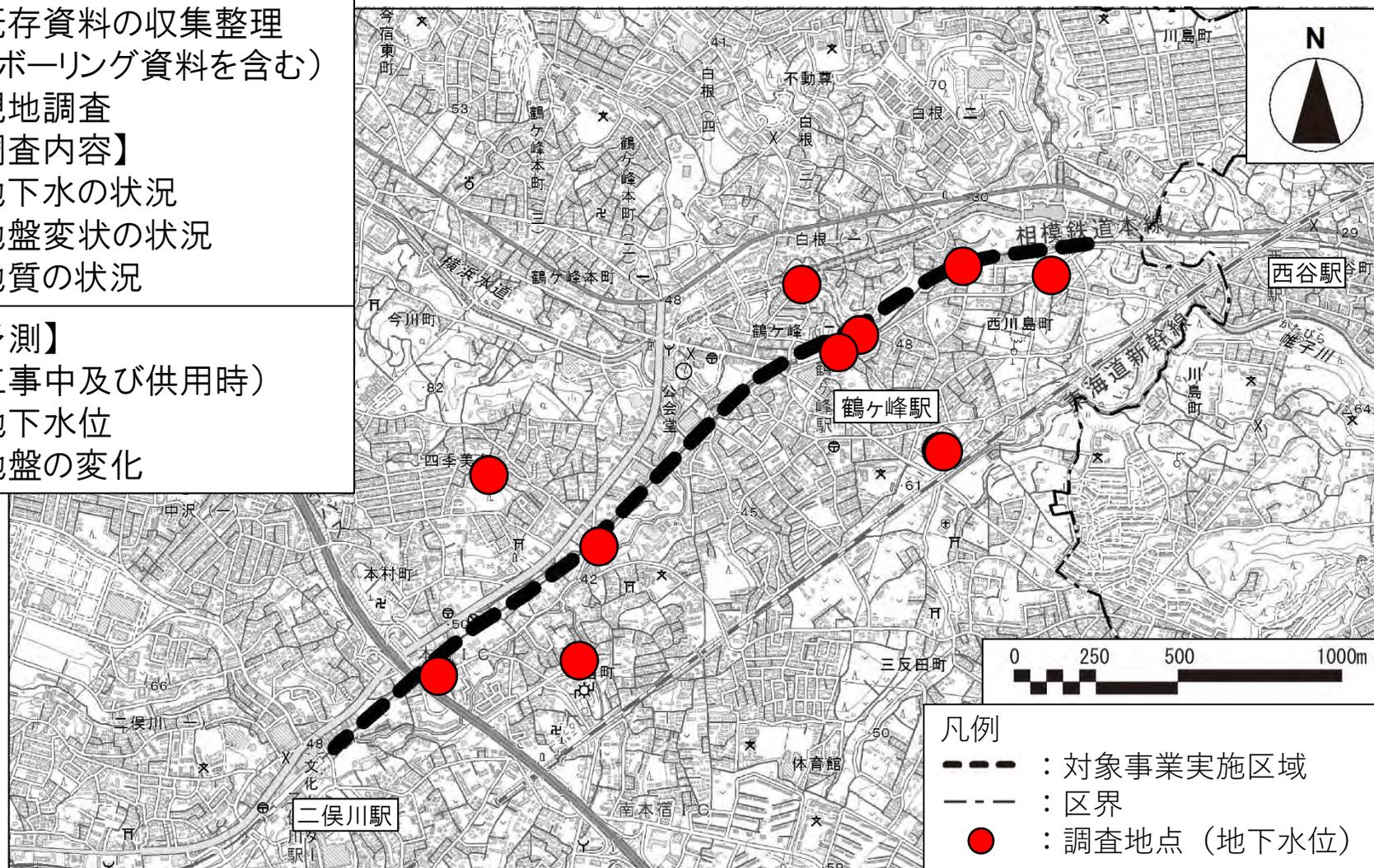
- ・既存資料の収集整理  
（ボーリング資料を含む）
- ・現地調査

## 【調査内容】

- ・地下水の状況
- ・地盤変状の状況
- ・地質の状況

## 【予測】

- （工事中及び供用時）
- ・地下水位
- ・地盤の変化



# 調査・予測の内容（河川の形態・流量、水質・底質）

## 【調査方法】

- ・既存資料の収集整理
- ・現地調査

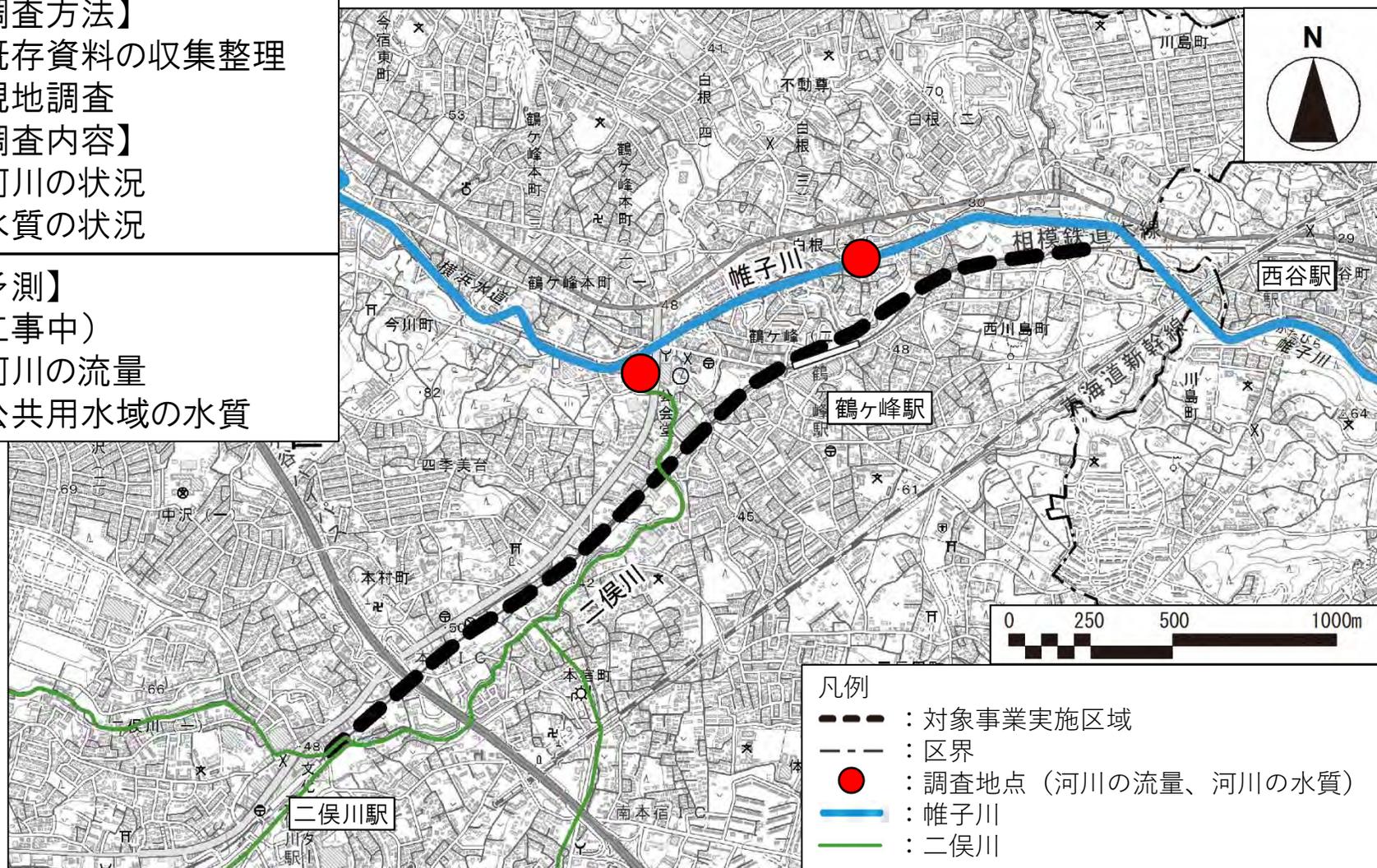
## 【調査内容】

- ・河川の状況
- ・水質の状況

## 【予測】

（工事中）

- ・河川の流量
- ・公共用水域の水質





# 調査・予測の内容（交通混雑、歩行者の安全）

## 【調査方法】

- ・既存資料の収集整理
- ・現地調査

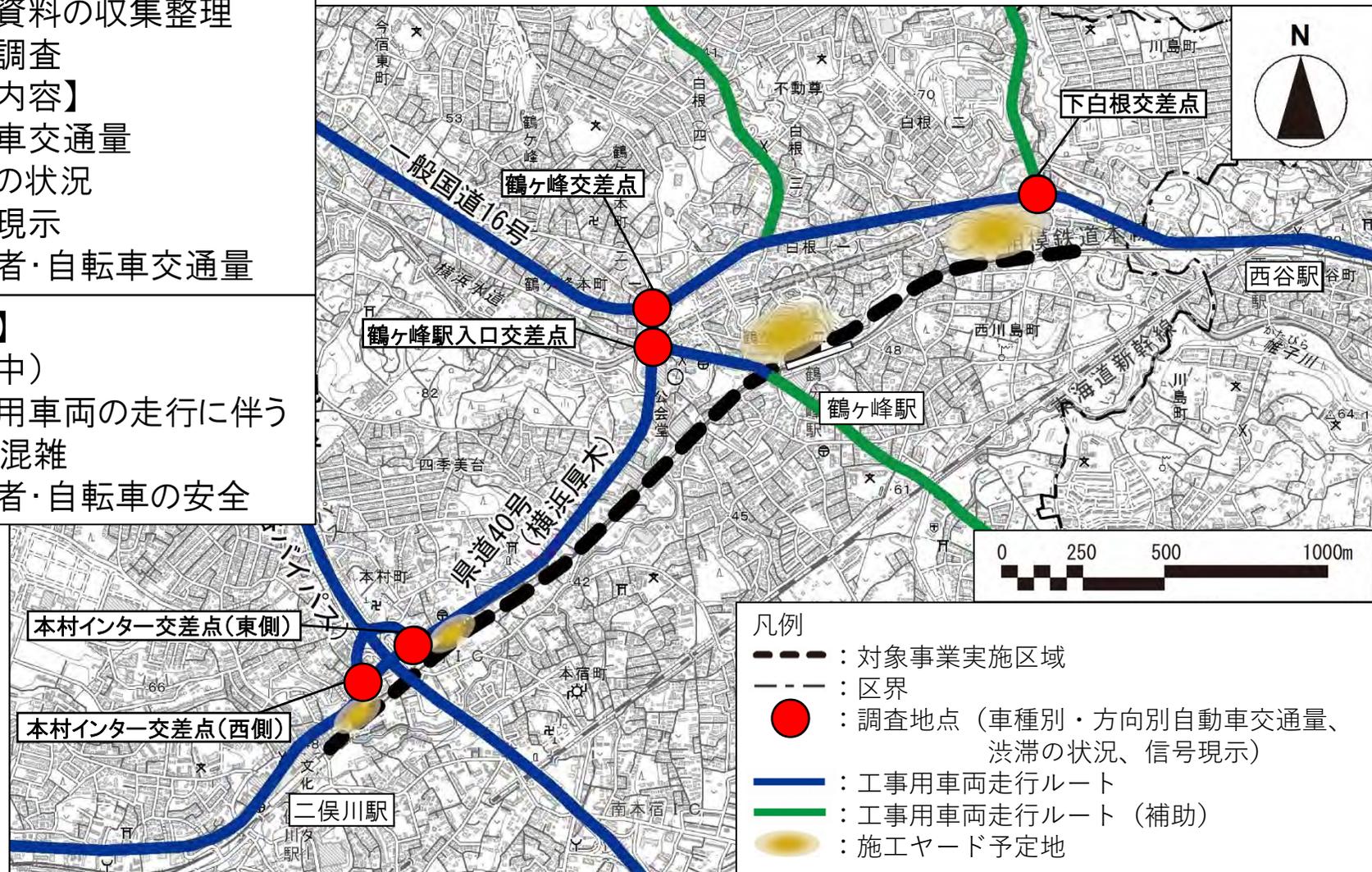
## 【調査内容】

- ・自動車交通量
- ・渋滞の状況
- ・信号現示
- ・歩行者・自転車交通量

## 【予測】

(工事中)

- ・工事用車両の走行に伴う交通混雑
- ・歩行者・自転車の安全



# 調査・予測の内容（景観、触れ合い活動の場）

## 【調査方法】

- ・既存資料の収集整理
- ・現地調査

## 【調査内容】

- ・地域景観の特性
- ・主要な景観資源の状況
- ・主要な眺望地点からの景観
- ・触れ合い活動の場の状況  
（名称、位置、規模、区域及び分布状況、活動特性、利用状況、経路、交通手段）

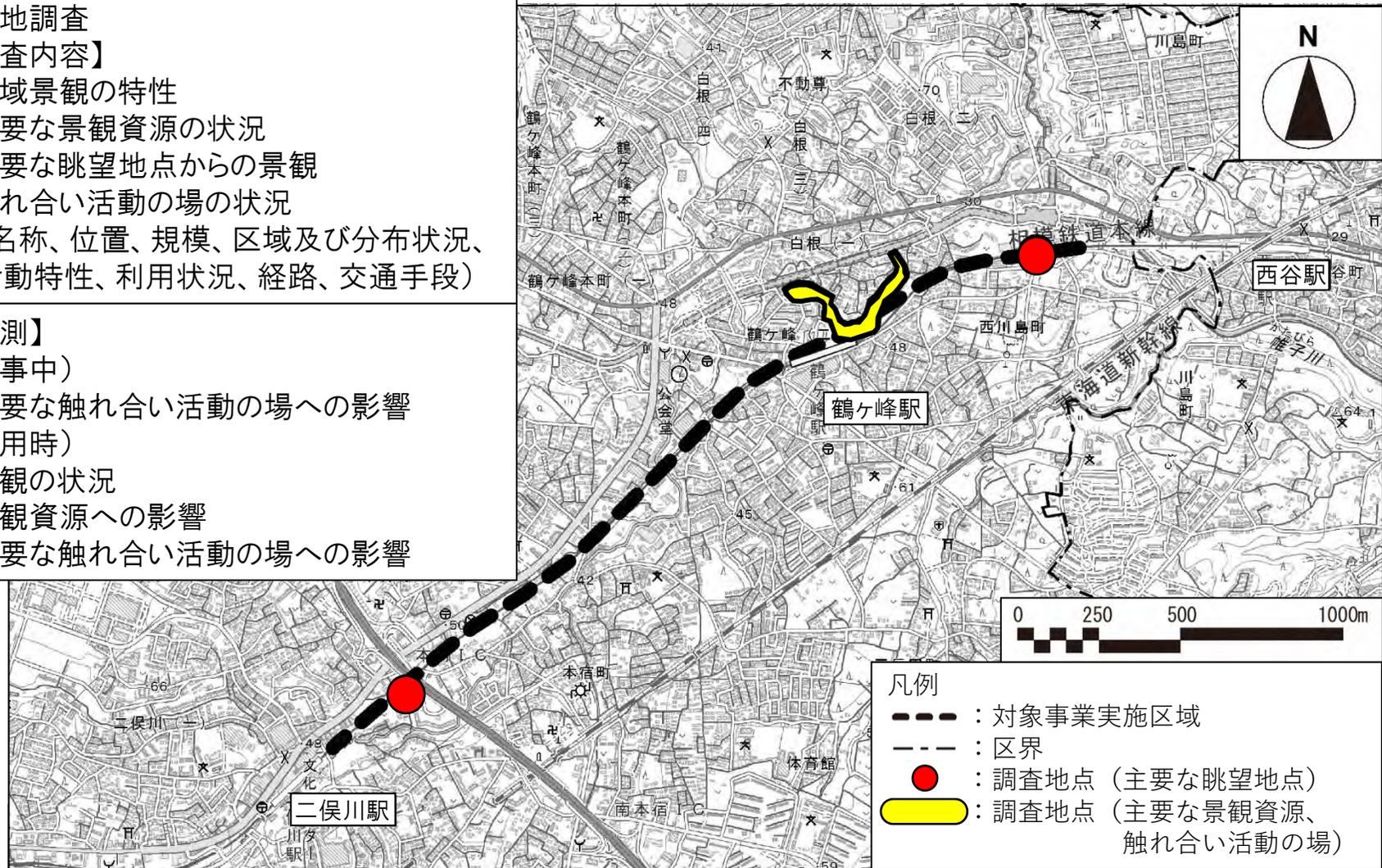
## 【予測】

（工事中）

- ・主要な触れ合い活動の場への影響

（供用時）

- ・景観の状況
- ・景観資源への影響
- ・主要な触れ合い活動の場への影響



## 調査・予測の内容（その他の項目）

調査項目：温室効果ガス、廃棄物・建設発生土、大気質、土地の安定性、地下埋設物

### 【調査方法】

- ・既存資料の収集整理

### 【調査内容】

- ・温室効果ガスに係る原単位の把握、排出抑制対策の実施状況
- ・廃棄物及び建設発生土の処理処分の状況
- ・大気質の状況（窒素酸化物・浮遊粒子状物質）
- ・過去の被災の状況
- ・地下埋設物の状況

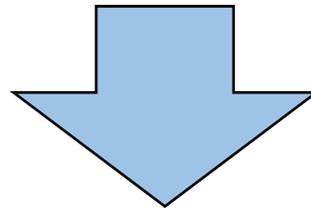
### 【予測】

（工事中）

- ・温室効果ガス排出量
- ・産業廃棄物、建設発生土
- ・大気質濃度
- ・急傾斜地の斜面崩壊の危険性
- ・地下埋設物への影響

## 評価の手法

- ・横浜市が定めた計画及び指針等の中で設定している目標
- ・環境基準
- ・法令等で定められている基準
- ・地球環境に著しい影響を及ぼさない水準 等



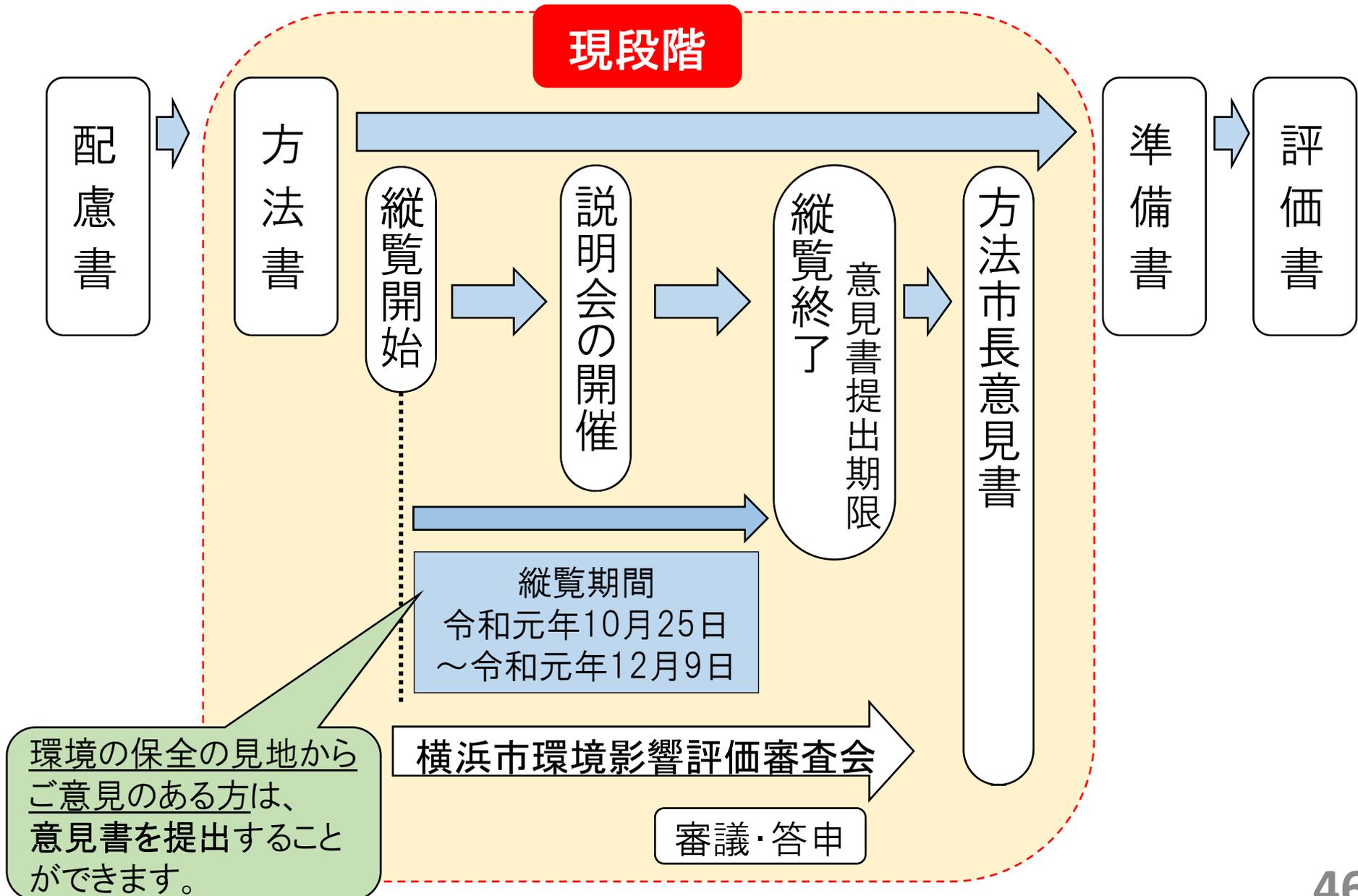
環境保全目標を設定

◆ 予測結果との対比により、評価

※ 結果等については、今後実施する準備書にて、お示いたします。

## 2-3. 縦覧及び意見書の提出

# 方法書の縦覧、閲覧及び意見書の提出について



# 方法書の縦覧、閲覧及び意見書の提出について

## 【縦覧】

期間 令和元年10月25日(金)から令和元年12月9日(月)まで

場所 横浜市環境創造局環境影響評価課

旭区役所区政推進課広報相談係

保土ヶ谷区役所区政推進課企画調整係

## 【閲覧】

開始日 令和元年10月25日(金)

場所 横浜市中心図書館、旭図書館、保土ヶ谷図書館

横浜市環境アセスメントのホームページ

## 【意見書の提出】

提出期間 令和元年10月25日(金)から令和元年12月9日(月)まで

提出場所 横浜市環境創造局環境影響評価課

意見書用紙は、縦覧場所窓口又はホームページから入手できます。

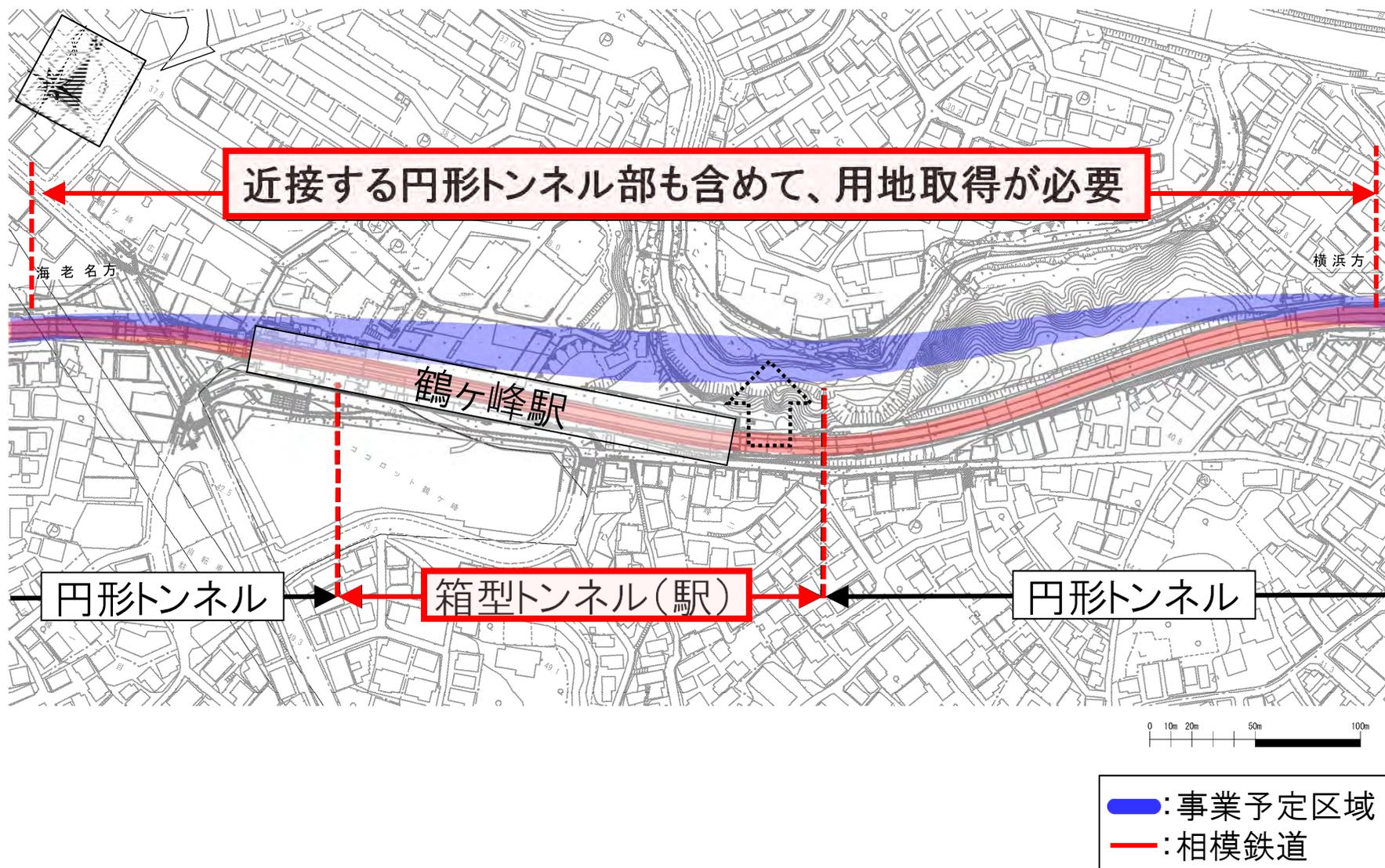
※横浜市環境アセスメントのホームページからも意見書の電子申請ができます。

**以下、当日利用した参考資料**

# 計画概要（箱型トンネル（駅）区間）

令和元年5月  
事業説明会資料

箱型トンネル区間(駅)は、工期短縮等のため、既存駅部より北側にて検討

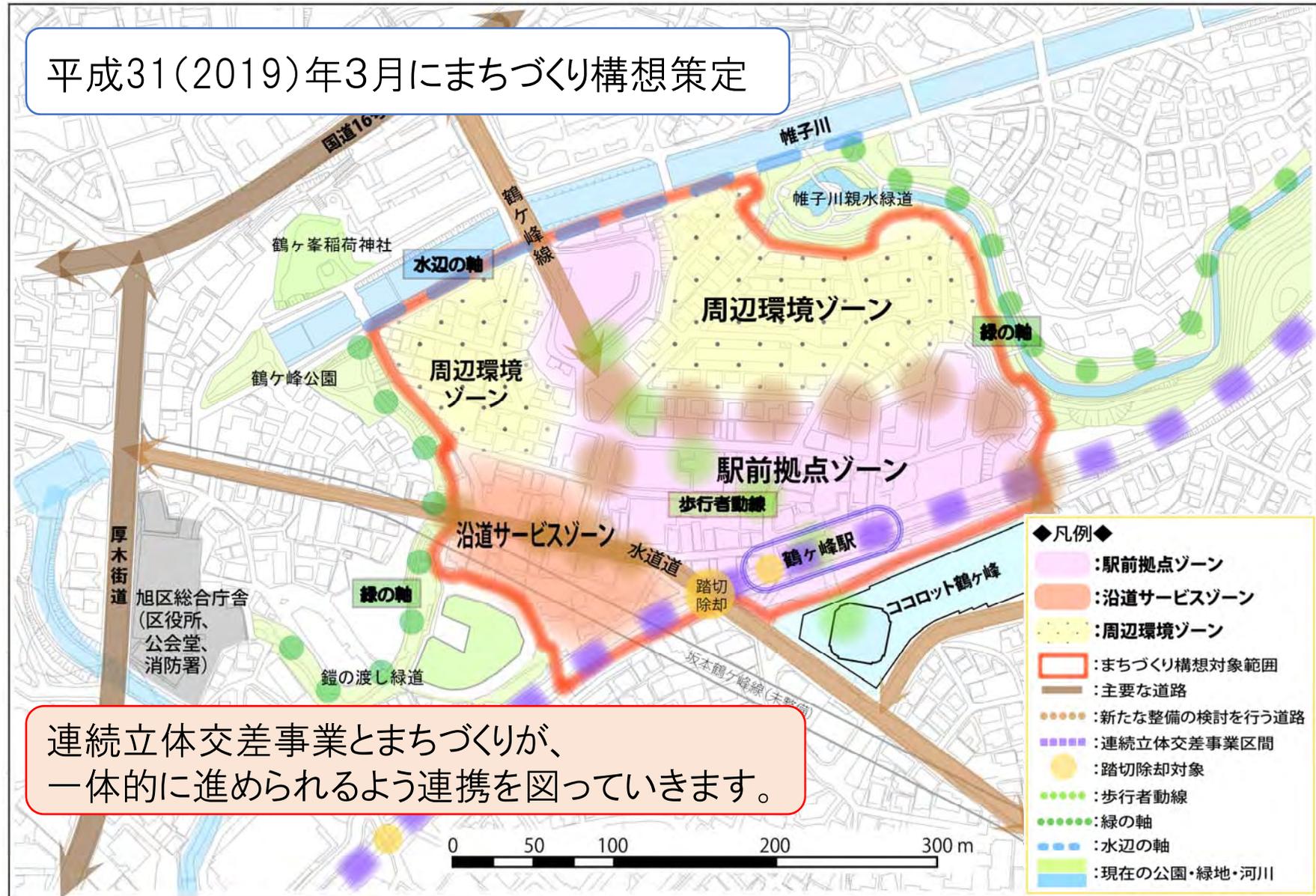


※詳細な位置等は今後の設計の中で決定します。

# 鶴ヶ峰駅周辺のまちづくりの状況

令和元年5月  
事業説明会資料

平成31(2019)年3月にまちづくり構想策定



連続立体交差事業とまちづくりが、  
一体的に進められるよう連携を図っていきます。

※まちづくりについては本市都市整備局が所管。

資料: 鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想図 50